

令和5年度三田市高校生議会 質 問 書

【質 問 者】 6番 クラーク記念国際高校 2年 入江 航生 (いりえ こうせい)

【担 当 課】 総合政策部 政策調整室 秘書広報課

【答弁予定者】 市長

【質問事項】 三田市のSNS広報について

【質問内容】

6番 高校生議員のクラーク記念国際高校2年の入江 航生です。私からは「三田市のSNS広報について」質問します。

私は三田市が若者の集う活気のある街になれば良いと考えています。

今の三田市はInstagram、LINEなどで広報を行っています。LINEなどではわかりやすい情報 Instagramでは三田の魅力が詰まっています。この魅力を三田市民また全国の人にもっと知って欲しいと思いました。

そこで、私は三田市にSNS広報課をつくってYouTube または他のSNSで短い動画を出して広報することを提案したいと思います。

長い動画ではなく短い動画にする理由は、短い動画はSNSを使っている時に意図せず流れてくるので不特定多数の人に見てもらえるからです。また、長い動画は自ら検索しなければオススメに出ないだけでなく、長く面白い人目を惹く動画の作成は難しく、製作者の負担が大きくなるからです。

SNSでの広報で人々の関心を引きつけるにはユーモアと動画の数、モラルの管理が大切になります。それはSNS広報課を作ることによって管理ができ、また不特定多数への広報が三田の魅力を知らせきっかけにつながると考えています。

また、私たち若者も「SNS」という分野には参加しやすく、三田市が企画したSNSのイベントなどにハッシュタグなど付けて投稿する形で乗っかれば、街づくりなどにも参加でき、活気が出てくると思います。

せっかくなので高校生の目線で提案をさせて頂きました。SNS広報課について、また現状での広報の効果をどのように感じているかについて、市の

考えをお聞かせください。

【答 弁 内 容】

入江議員からご提案のありました「三田市のSNS広報について」お答えいたします。

まず、「現状での広報の効果」についてですが、三田市が行う広報媒体は、毎月発行しています広報誌「広報さんだ」と市公式ホームページに加え、LINE、Instagram、Facebook、YouTubeといったSNSを活用し、市政情報をはじめ市の魅力発信など、さまざまな情報を随時発信しております。

市が運用しているSNSの登録者数やフォロワー数は、1月18日現在でLINEが最も多く10,732人、Instagramは3,396人、Facebookは2,533人です。市が実施するSNSの特徴としましては、まずLINEは、年代、居住地区、職業といった属性に応じた情報や利用者が希望する情報を発信し、Instagramは週に2回程度、三田の風景やイベントなどの写真やリール動画を投稿することで市の魅力発信を行っています。また、動画による情報発信につきましては、私自らが出演した市民病院再編統合にかかる動画をはじめ、動画による情報発信への取り組みも強化してまいりました。SNS広報の効果につきましては、特にLINEの登録者数は増加しており、一定の効果は得られていると感じていますが、10代、20代の若者の登録者の割合は低いため、若い人の登録が進む取り組みが必要であると考えております。

次に「SNS広報課の設置」についてですが、高校生の目線ならではの若者にストレートに伝わる課名をご提案いただきありがとうございます。現在SNSに特化した部署はありませんが、市政情報や市のPRの動画配信については、観光部門の部署や秘書広報課の20代の若手職員が中心となって若者に関心を持っていただけるよう工夫しながら発信しています。また、モラル管理についても、人権的な配慮も含め点検した上で配信しています。しかし、多くの若者が情報収集においてSNSを活用している状況を踏まえ、議員ご提案のSNSによるショート動画を発信することは非常に有効な手段であると考えております。ショート動画をきっかけに、若者がまちに関心を持ち、まちづくりに参画することで、まちへの愛情が深まるシビックプライドの醸成が図れると

ともに「若者の集う活気のある街」へとつながると期待しています。

動画の作成にあたっては、若者がどのような視点で「おもしろい」「興味が湧いた」と感じるかを知っていくことも重要であると考え、若者が動画作成に参加するなどの仕組みも併せて検討してまいります。

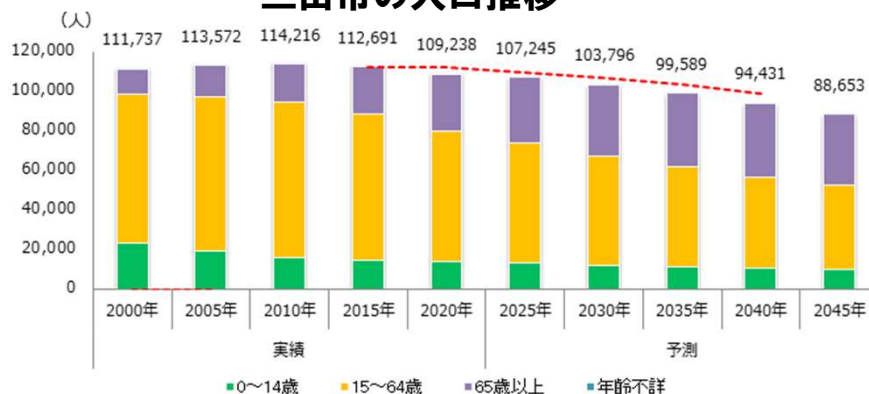
いずれにしましても、三田市広報についてもっと力を入れていく必要性を強く感じております。高校生議員の皆様におかれましても、本議会で関心を持っていただいたことについて、SNSをはじめ、同世代の若者へお伝えいただければ、三田に関心を寄せていただける若者が増えると思いますので、ぜひともご協力ほどよろしくお願いいたします。

SNSで若者が集うまち 三田をつくれ！

クラーク記念国際高等学校 入江航生

三田市の現状

三田市の人口推移



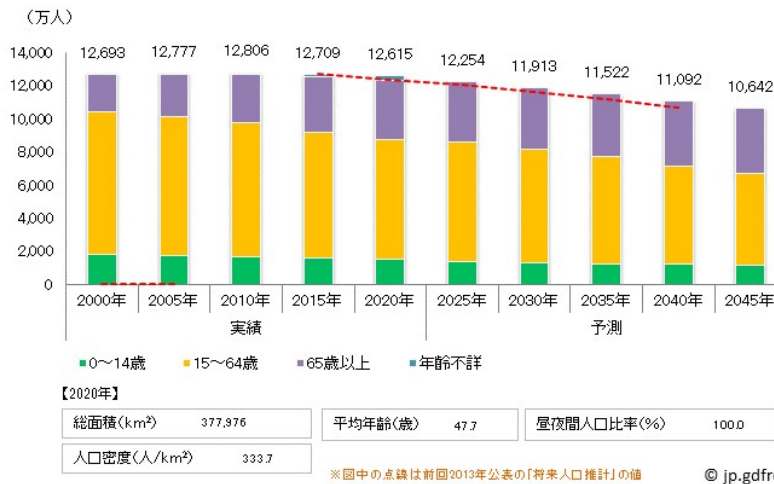
【2020年】

総面積 (km ²)	210	平均年齢 (歳)	47.0	昼夜間人口比率 (%)	92.4
人口密度 (人/km ²)	519.4	※昼夜間人口比率のみ2015年時点			

※図中の点線は前回2013年公表の「将来人口推計」の値

© jp.gdfreak.com

日本の人口における現状



まとめると

- 2015年から減少が始まっている
- 三田市約1万8000人減少
- 日本全体約1700万人減少



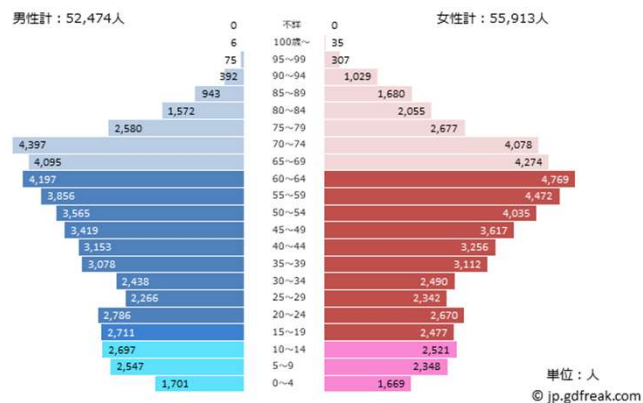
人口減少 まだ大丈夫な方 じゃない？



三田市の人口ピラミッド

三田市も日本と同じように高齡化していく

三田市の2023年1月1日の人口構成 (住民基本台帳ベース, 総人口)



三田市が若者の多い
活気のある街にする
広報とは？



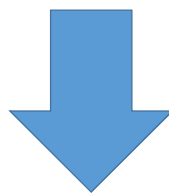
若者が使う
媒体

不特定多数
にみられる

コストが掛
からない

広報効果
がある

結果



SNS広報課をつくって
YoutubeShortなどの短い動画で
広報しよう！

YoutubeShortとはまたそのメリット

- 最大60秒の短い動画
- 不特定多数に閲覧される
- 検索しなくても流れてくる
- 影響力が大きい

影響力の実際の例（大京警備保障株式会社さん、ちいたんさん）

Google

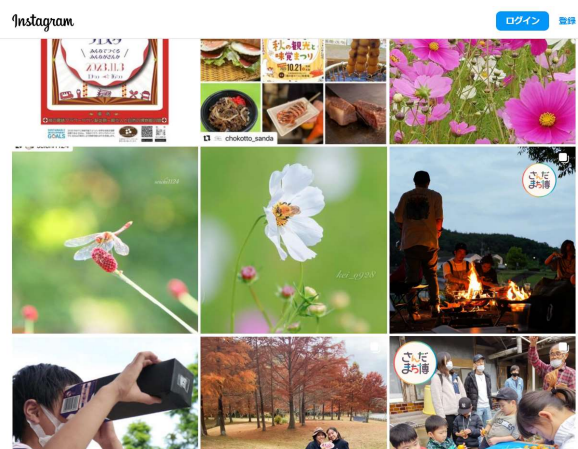


Google



三田市のSNS広報の現状

- インスタグラムでは綺麗な写真がupされており、三田市の魅力が詰まっている（右写真）
- LINEでは生活に関わる情報が分かりやすくまとめられている
- 他にもFacebookなどでも広報をしている



でもただ広報
しても効果が
あまりない…



SNS広報課をつくるメリット

- ユーモアと動画の本数を両立させて動画投稿ができる
- 従来の広報課の負担を減らせる
- モラルの管理ができる



モラル管理

- 動画を投稿するにあたってリスクが生じる
- 炎上してしまうと**イメージダウン**に



これを防ぐためのSNS広報課！



まとめ

• SNS広報によって、まず多くの人に三田市を知ってもらえる

• そこから三田市の良さを
知ることに繋がる

• 移住、またイベントの存在を
多くの人に知ってもらえる
事で活気に満ちた街になる

• ハッシュタグなどつける企画なら
私たち若者も気軽に参加できる

SNS広報

- SNS広報課をつくり、広報する
- 若い人材を起用する

きっかけ

- SNSにより三田市を知る

活気あるまち

- 移住、イベント参加で活気のある街に！